



# 保育園だより

2023.12.1  
あおぞら保育園

早いもので今年も残すところあとわずかになりました。この1年間元気に過ごせましたか?いよいよ寒さも本番を迎えます。そして、クリスマスや年末年始のお出かけなど楽しく過ごせるように、手洗い、うがいをこまめにして感染症に罹らないようにしましょう。

今年最後の保健だよりになりました。日頃より、保護者の皆様には、ご理解ご協力を頂きありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。よいお年をお迎えください。

## 11月の感染症(11/28現在)

プール熱(アデノ).....	23名
プール熱(アデノ)疑い	3名
流行り目(アデノ).....	4名
溶連菌感染症.....	10名
感染性胃腸炎.....	1名
インフルエンザ A .....	11名
インフルエンザ B .....	1名
新型コロナウイルス..	1名

## 12月の保健行事

4日~8日 身体測定

11日(月) 0歳児健診 14:30~

## ~インフルエンザについて~

インフルエンザの疑いがある場合は、各医療機関によって検査できるタイミングが違います(38℃以上になってから12時間以上経たないと検査できないなど。)  
一般的に発熱後、48時間以上経過すると薬効が期待できなくなってしまいます。

### ※インフルエンザと診断された場合※

登園基準は「インフルエンザ発症後、5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」です。基準を満たしたら保護者にご記入いただく「登園届」を提出していただけて登園可となります。

最低基準	発症した後5日を経過	発症日(発症当日0日目)	発症後1日目	発症後2日目	発症後3日目	発症後4日目	発症後5日目	発症後6日目	発症後7日目	発症後8日目	発症後9日目
例1 発症後1日に解熱した場合		発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	解熱後4日目	解熱後5日目	解熱後6日目	解熱後7日目	笑顔
		出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	登園可
例2 発症後2日に解熱した場合		発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	解熱後4日目	解熱後5日目	解熱後6日目	笑顔
		出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	登園可
例3 発症後3日に解熱した場合		発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	解熱後4日目	解熱後5日目	笑顔
		出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	登園可
例4 発症後4日に解熱した場合		発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	解熱後4日目	笑顔
		出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	登園可
例5 発症後5日に解熱した場合		発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	解熱後4日目	笑顔
		出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	出園停止	登園可

# 手洗い指導

★ことり組

★ほな組

★つき組

♪手洗いの歌♪  
しゅりけん、いもむし、おやゆび、おすべり、こちよこちよあらって、くりくりしましょう~

フラックライトを照らすと洗い残しが見えます。

知っている感染症を話し合ったり、どうしたら咳や熱が出なくなるのか?どんなことに気をつけたら良いか?みんなで話し合うことができました。  
風邪を引かないように気をつけることはどんな事でしょうか?...外から帰ってきたら手を洗う。うがいをする。夜遅くまで起きていらない。朝は、7時には起きる。食べたら歯を磨く。好き嫌いしない。野菜を食べる。そして最後には「換気する!!」という発言もありました。  
小学校への期待が高まる時期なので集中して話を聞き、積極的に発言する姿がありました。  
手洗いうがいは、これから先も自分の体を守るためにとても大切な事の一つです。最後の手洗い指導になりますので、気合いを入れてみんなと確認しながら行いました。

保健指導が初参加のことり組は興味津々でよく話を聞き一生懸命に真似をしながら取り組む姿がかわいらしかったです。ほな・つき組は「手洗いをするときは歌っているよ」「鼻がかかるようになった」など嬉しい報告も聞かれました。幼いうちから、自分の健康に興味を持つことは大切です。実際に体験しながら、できた・できなかった・何でだろう?・楽しかった・もっとやりたい・・・など色々な発見や感情を引き出せるように子どもたちと一緒に楽しめる工夫を今後もしていきたいと思います。

## 感染性胃腸炎



・これから時期に流行る胃腸炎の症状は、嘔吐から始まり下痢に移行します。発熱することもあるので、脱水症状の予防が大切です。嘔吐後は絶飲食し、1~2時間程度時間を空けて、少しづつ、経口補水液や乳幼児用イオン飲料で水分摂取します。母乳・ミルクでも同じように、少量ずつ飲ませます。まずスプーンで一口。吐き気がなければ、10分おき程度にひと口ずつ。徐々に2口...と増やします。食事は、無理に食べさせる必要はありません。子どもが欲しがるからと言って、消化の良くない食べ物(食物繊維が多いもの・ジュース・乳製品など)やジャンクフード(ピザやポテトなど)は回復を遅らせますので控えましょう。食事を開始する場合は、消化の良いもの(野菜スープ・おかゆ・クタクタに煮たうどんなど)で様子を見てください。おしゃりもかぶれやすくなりますので、こすらずにお湯洗いし、軽く押さえ拭きをしてからたっぷりと保湿剤を塗って荒れ予防をしましょう。掃除は、アルコールは無効ですので塩素系漂白剤で行いましょう。